

# I 消費購買動向調査の実施概要

## 1 調査の実施要領

### (1) 調査の目的

県内の商圈構造や多様化する消費購買動向の実態を把握し、今後の商業施策の参考とすることを目的とする。

### (2) 調査の概要

ア 調査実施期間	平成28年10月
イ 調査範囲	福島県内の全市町村（双葉郡等居住できない地域を除く）
ウ 調査方法	調査票（マークシート）によるアンケート調査
エ 分析を行った地域ブロック	県北、県中、県南、会津、相双、いわき 計6ブロック

### (3) 調査事項の主な内容

ア 商圈構造の動向	イ 市町村商圈人口の実勢
ウ ブロック別の消費動向	エ 立地特性にみる買物場所別消費購買動向
オ 購買行動の特性	カ 居住地の買物環境変化

### (4) 母集団の選定

消費活動が、世帯を単位として主たる購買者の消費購買態様として現れることに着目し、世帯数を調査単位とする。その範囲は県内全域とする（双葉郡等居住できない地域を除く）。

### (5) 標本数

標本率を各市町村3.5%程度とし、県全体の世帯数742,690（平成28年4月現在）から標本数は25,000世帯とする。

### (6) 標本の選定

標本の選定については、県内全域から抽出し、その抽出方法は以下のとおりとする。

- ア 県内を各市町村行政区域によって区分する。
- イ 各市町村の世帯数から抽出率に相当する世帯数を決定する。
- ウ 59市町村全ての公立中学校全校（移転している中学校を含み、休校中の中学校は除く）を対象とし、当該市町村の抽出世帯数を公立中学校の規模に応じて配分する。
- エ 第1学年に属する生徒の世帯を標本として抽出する。  
ただし、公立中学校第1学年の生徒数が抽出率に満たない市町村は、不足分について第2学年に属する生徒の世帯を標本とする。  
なお、休校中の中学校を除く全公立中学校から、少なくとも1学級を選定するものとする。

**(7) 調査票**

調査票は、電子計算機による集計を考慮してマークシートを採用し、集計・解析の迅速化を図る。

**(8) 調査機関と協力機関**

ア 調査機関 福島県

イ 協力機関 福島県教育委員会、各市町村、各市町村教育委員会、各公立中学校

**(9) 調査結果解析協力**

福島大学 経済経営学類 准教授 中村陽人







平成28年度 消費購買動向調査 市町村等 コード表

ブロック	市町村名	圏域市町村名等	コード	
			百	十
県北	福島市	福島市	0	0
		旧飯野町	0	0
	二本松市	二本松市	0	0
		旧安達町	0	0
		旧岩代町	0	0
	伊達市	旧東和町	0	0
		旧伊達町	0	0
		旧梁川町	0	0
		旧泉原町	0	0
		旧霊山町	0	0
	本宮市	旧月舘町	0	1
		旧本宮町	0	1
		旧白沢村	0	1
		桑折町	0	1
	国見町	国見町	0	1
川俣町	川俣町	0	1	
大玉村	大玉村	0	1	
須賀川市	郡山市	須賀川市	0	1
	須賀川市	須賀川市	0	2
	旧長沼町	0	2	
	旧岩瀬村	0	2	
	旧瀬郷町	0	2	
	旧大越町	0	2	
	旧都路村	0	2	
	旧常葉町	0	2	
	旧船引町	0	2	
	鏡石町	鏡石町	0	2
県中	天栄村	天栄村	0	2
	石川町	石川町	0	2
	玉川村	玉川村	0	3
	平田村	平田村	0	3
	浅川町	浅川町	0	3
	古殿町	古殿町	0	3
	三春町	三春町	0	3
	小野町	小野町	0	3
	須賀川市	須賀川市	0	1
	田村市	田村市	0	2
鏡石町	鏡石町	0	2	
天栄村	天栄村	0	2	
石川町	石川町	0	2	
玉川村	玉川村	0	3	
平田村	平田村	0	3	
浅川町	浅川町	0	3	
古殿町	古殿町	0	3	
三春町	三春町	0	3	
小野町	小野町	0	3	

ブロック	市町村名	圏域市町村名等	コード	
			百	十
県南	白河市	白河市	0	3
		旧表郷村	0	3
		旧栗村	0	3
		旧大信村	0	3
		西郷村	0	4
	奥州市	泉崎村	0	4
		中島村	0	4
		矢吹町	0	4
		柳屋町	0	4
		矢祭町	0	4
	会津若松市	塙町	0	4
		会津若松市	0	4
		会津若松市	0	4
		旧北谷津村	0	4
		旧河東町	0	5
会津	喜多方市	喜多方市	0	5
		旧塩川町	0	5
		旧山都町	0	5
		旧高郷村	0	5
		旧熱塩加納村	0	5
	北塩原村	北塩原村	0	5
		西谷津町	0	5
		磐梯町	0	5
		猪苗代町	0	5
		会津坂下町	0	6
湯川村	湯川村	0	6	
	柳津町	0	6	
	三島町	0	6	
	金山町	0	6	
	昭和村	0	6	
会津美里町	旧会津高田町	0	6	
	旧会津本郷町	0	6	
	旧新郷村	0	6	
	旧田島町	0	6	
	旧窪岩村	0	7	
南会津町	旧伊南村	0	7	
	旧南郷村	0	7	
	下郷町	0	7	
	檜枝岐村	0	7	
	只見町	0	7	

ブロック	市町村名	圏域市町村名等	コード	
			百	十
相双	相馬市	相馬市	0	7
		南相馬市	0	7
	旧鹿島町	旧鹿島町	0	7
		旧小高町	0	7
		広野町	0	8
	富岡町	榑葉町	0	8
		富岡町	0	8
		川内村	0	8
		大熊町	0	8
		双葉町	0	8
	浪江町	浪江町	0	8
		葛尾村	0	8
		新地町	0	8
		飯館村	0	8
		平地区	0	9
いわき	内郷地区	内郷地区	0	9
		常磐地区	0	9
		小名浜地区	0	9
		勿来地区	0	9
		四倉地区	0	9
	大久・久之浜地区	小川地区	0	9
		川前地区	0	9
		三和地区	0	9
		好間地区	1	0
		遠野地区	1	0
田人地区	1	0		

ブロック	市町村名	圏域市町村名等	コード	
			百	十
宮城県	仙台市	仙台市	2	1
		仙台市以西 (名取、岩沼、白石方面)	2	1
		上記以外	2	1
県外	山形県	山形県	2	2
		新潟県	2	3
	栃木県	那須地方	2	4
		那須地方以外	2	4
茨城県	茨城県	2	5	
東京都	東京都	2	6	

## 2 今回調査の特徴

### (1) 調査票の項目について

- ア 新規設問として、問2「年代」、問3「性別」、問8「中心部商業地の商店街に望むもの」を追加した。
- イ 前回の設問にあった「平成23年3月11日時点の居住地」を削除した。
- ウ 問5「月々の買物支出」金額を「5万円未満」、「5～10万円未満」、「10～15万円未満」、「15万円以上」に変更した。
- エ 問6-2「問6-1 答えの理由」から「お気に入りの店」を削除した。
- オ 問10「買物状況」について、「4. 買物店舗の形態」に、「ショッピングセンター」を追加した。
- カ 問10「買物状況」について、「6. 交通手段」から、「オートバイ」を削除した。
- キ 問10「買物状況」について、「買物品目」に、「11. 時計・アクセサリー」を追加した。

#### 項目の参考

##### ■「問1-2、問7、問8、問10-3 中心部商業地」に関する参考

中心部商業地	まちの中心地であって、人口が集中し、まちの中でも商業、行政機能等が充実している地域。
--------	--

##### ■「問10、買物状況 4 買物店舗の形態」に関する参考

個人商店	個人で営業する小規模な店舗。
スーパー	食料品・日用品を主体として取り扱うスーパーマーケット。
コンビニエンスストア	食料品を中心に各種商品を主に24時間体制で取り扱う店舗。
デパート	主に都市部の駅前等に立地し、多種多品目の商品を取り扱う大規模店舗。ショッピングセンター等と比べると、高級品を取り扱っていることが多い。
大型専門店・量販店	専門店・量販店のうち、比較的大規模な店舗で営業するもの。 (例：ホームセンター、ドラッグストア、家電量販店、衣料品販売店等)
アウトレットモール	高級ブランド品を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めたショッピングセンター。
ショッピングセンター	主に郊外に立地し、大型の建物のなかに多数の小売業者、飲食店等をテナントとして入居させた総合的商業施設。広い駐車場が整備されている店舗が多い。

### (2) 調査内容の分類について

今回の調査内容の分類は下記のとおりとする。

- ア 商圏タイプ別（広域型商圏都市・地域型商圏都市・近隣型商圏都市）ごとにそれぞれの消費購買動向を分析した。

- 商圏タイプの区分については、「Ⅲ調査結果 2 商圏構造の動向」の中で説明している。
- イ ブロック別（県北・県中・県南・会津・相双・いわき）ごとに消費者の流動状況を分析した。
- ウ 消費者の購買行動の特性について分析した。

### 3 報告書利用上の注意点

- (1) 調査対象の世帯は、中学1年生の生徒の属する世帯とする。  
なお、中学1年生の生徒の属する世帯数が抽出率に満たない市町村については、不足分について中学2年生の生徒の属する世帯も調査対象とした。
- (2) 図表は理解し易いように割合（パーセント表示）を中心に表示し、実数の一部を割愛した。  
なお、パーセント表示については小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない図表もある。
- (3) 本調査は、アンケート調査結果の総有効標本数から未記入分を除いた数値を使用し作成した。
- (4) 吸引人口とは、他市町村（いわき市においては地区）からの流入人口で、地元購買人口は含まない。
- (5) 居住地のとらえ方については、市町村（いわき市においては地区）を単位としている。
- (6) アンケート調査結果において、原子力災害の影響により居住や立ち入りができない場所を居住地としている回答については、分析の対象外としている。
- (7) 本調査分析に用いた原データは、県商工労働部商業まちづくり課に平成32年3月まで保管する。
- (8) 合併市町村の取扱い  
調査時点で、福島市（H20.7.1）、会津若松市（H17.11.1）、白河市（H17.11.7）、須賀川市（H17.4.1）、喜多方市（H18.1.4）、二本松市（H17.12.1）、田村市（H17.3.1）、南相馬市（H18.1.1）、伊達市（H18.1.1）、本宮市（H19.1.1）、南会津町（H18.3.20）、会津美里町（H17.4.1）が合併しているが、これまでの調査との比較を行うため、合併後の新市町としてではなく、旧市町村ごとに分析を行う。  
なお、旧市町村名および各種データ等は、平成28年4月を基準とする。

### 4 調査票の配布及び回収状況

調査実施要領に基づいて実施した調査票の配布及び回収の状況は標本集計数（1）、（2）のとおりである。

- (1) 県の人口および世帯数は1,901,800人、742,690世帯（平成28年4月現在）である。
- (2) 有効標本数は20,108件で、前回調査と比較して1,803件多い。
- (3) 有効標本回収率及び抽出率は80.2%、2.7%である。

標本集計表（1）

県全体（各ブロック合計）

ブロック	世帯数	人口	配布数	有効標本数	有効回答率	有効抽出率
県北	189,404	478,482	6,366	5,301	83.3%	2.8%
県中	208,445	539,008	7,081	5,423	76.6%	2.6%
県南	51,887	144,296	1,773	1,519	85.7%	2.9%
会津	106,998	276,002	3,411	2,623	76.9%	2.5%
相双	44,858	116,460	1,632	1,140	69.9%	2.5%
いわき	141,098	347,552	4,796	4,102	85.5%	2.9%
計	742,690	1,901,800	25,059	20,108	80.2%	2.7%

注1)：人口及び世帯数は平成28年4月現在のものである。

注2)：標本の有効抽出率は、有効標本数÷世帯数×100で求めた数値である。

標本集計表（2）

県北ブロック

居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数
福島市	3,275	旧東和町	61	旧月舘町	30	川俣町	143
旧飯野町	55	旧伊達町	141	旧本宮町	216	大玉村	95
二本松市	351	旧梁川町	190	旧白沢村	86		
旧安達町	118	旧保原町	226	桑折町	126		
旧岩代町	53	旧霊山町	46	国見町	89	計	5,301

県中ブロック

居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数
郡山市	3,461	旧大越町	38	天栄村	54	古殿町	62
須賀川市	587	旧都路村	20	石川町	157	三春町	182
旧長沼町	57	旧常葉町	47	玉川村	86	小野町	112
旧岩瀬村	50	旧船引町	220	平田村	72		
旧滝根町	45	鏡石町	98	浅川町	75	計	5,423

県南ブロック

居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数
白河市	491	西郷村	208	棚倉町	170		
旧表郷村	62	泉崎村	67	矢祭町	43		
旧東村	87	中島村	55	塙町	89		
旧大信村	54	矢吹町	160	鮫川村	33	計	1,519



### 会津ブロック

居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数
会津若松市	1,101	北塩原村	24	金山町	21	旧南郷村	32
旧北会津村	88	西会津町	45	昭和村	10	下郷町	49
旧河東町	61	磐梯町	34	旧会津高田町	89	檜枝岐村	6
喜多方市	281	猪苗代町	154	旧会津本郷町	45	只見町	50
旧塩川町	95	会津坂下町	132	旧新鶴村	28		
旧山都町	18	湯川村	14	旧田島町	110		
旧高郷村	18	柳津町	28	旧館岩村	28		
旧熱塩加納村	25	三島町	18	旧伊南村	19	計	2,623

### 相双ブロック

居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数
相馬市	343	広野町	44	大熊町	0	新地町	73
旧原町市	471	檜葉町	10	双葉町	0	飯舘村	0
旧鹿島町	171	富岡町	0	浪江町	0		
旧小高町	16	川内村	10	葛尾村	2	計	1,140

### いわきブロック

居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数	居住地	標本数
平地区	1,185	勿来地区	619	川前地区	9	田人地区	16
内郷地区	296	四倉地区	159	三和地区	62		
常磐地区	407	大久・久之浜地区	46	好間地区	163		
小名浜地区	963	小川地区	104	遠野地区	73	計	4,102

## 5 各市町村の世帯数と人口

### 県全体（各ブロック合計）

ブロック	世帯数	人口
県北	189,404	478,482
	182,344	484,021
県中	208,445	539,008
	199,662	535,653
県南	51,887	144,296
	50,799	146,740
会津	106,998	276,002
	106,665	285,914
相双	44,858	116,460
	63,930	181,811
いわき	141,098	347,552
	127,420	327,890
計	742,690	1,901,800
	730,820	1,962,029

注：上段は平成28年4月時点、下段は平成25年4月時点

### 県北ブロック

市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口
福島市	121,160	283,823	国見町	3,284	9,446	大玉村	2,665	8,721
	116,644	284,496		3,176	9,687		2,343	8,457
伊達市	22,462	62,683	桑折町	4,262	12,144	本宮市	10,300	30,657
	22,009	64,820		4,051	12,279		9,940	31,071
二本松市	19,750	56,688	川俣町	5,521	14,320	計	189,404	478,482
	19,095	58,519		5,086	14,692		182,344	484,021

### 県中ブロック

市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口
郡山市	138,950	335,395	石川町	5,210	15,641	三春町	6,240	18,179
	131,976	326,998		5,370	17,179		5,495	17,581
須賀川市	28,498	77,714	玉川村	1,990	6,745	小野町	3,408	10,360
	27,548	78,483		1,961	7,027		3,476	10,626
田村市	12,547	38,686	平田村	1,992	6,409			
	12,291	40,164		2,008	6,615			
鏡石町	4,235	12,480	浅川町	2,056	6,503			
	4,147	12,587		2,041	6,720			
天栄村	1,642	5,566	古殿町	1,677	5,330	計	208,445	539,008
	1,674	5,979		1,675	5,694		199,662	535,653

### 県南ブロック

市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口
白河市	24,237	62,532	矢吹町	5,929	17,411	鮫川村	1,066	3,524
	23,677	63,445		5,947	17,981		1,080	3,751
西郷村	7,510	20,293	棚倉町	4,721	14,158			
	6,999	19,811		4,700	14,560			
泉崎村	2,077	6,492	矢祭町	1,923	5,904			
	2,001	6,593		1,927	6,089			
中島村	1,407	4,978	埴町	3,017	9,004	計	51,887	144,296
	1,418	5,032		3,050	9,478		50,799	146,740

### 会津ブロック

市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口
会津若松市	50,963	121,802	会津坂下町	5,375	16,185	昭和村	606	1,293
	50,262	124,511		5,396	16,812		626	1,414
喜多方市	18,610	49,886	湯川村	908	3,195	南会津町	6,827	16,645
	18,490	51,743		930	3,211		6,833	17,724
北塩原村	1,023	2,776	柳津町	1,222	3,492	下郷町	2,016	5,711
	1,039	3,033		1,236	3,748		2,081	6,181
西会津町	2,515	6,474	会津美里町	7,295	21,346	檜枝岐村	220	607
	2,564	6,927		7,325	22,314		215	613
磐梯町	1,119	3,557	三島町	673	1,638	只見町	1,753	4,412
	1,119	3,646		725	1,777		1,791	4,685
猪苗代町	4,926	14,842	金山町	947	2,141	計	106,998	276,002
	5,031	15,312		1,002	2,263		106,665	285,914

### 相双ブロック

市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口
相馬市	14,882	38,416	川内村	1,128	2,039	新地町	2,709	8,206
	13,208	35,743		940	2,617		2,391	7,750
南相馬市	23,716	63,539	大熊町	-	-	飯舘村	-	-
	22,795	65,298		3,740	10,947		1,666	5,931
広野町	2,423	4,260	双葉町	-	-			
	1,723	5,049		2,218	6,271			
楡葉町	-	-	浪江町	-	-			
	2,439	7,242		6,745	18,985			
富岡町	-	-	葛尾村	-	-	計	44,858	116,460
	5,602	14,515		463	1,463		63,930	181,811

### いわきブロック

市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口	市町村	世帯数	人口
平地区	43,295	101,654	四倉地区	5,475	14,398	好間地区	5,761	13,794
	38,014	93,614		4,993	13,994		5,246	12,778
内郷地区	11,778	27,254	大久・久之浜地区	2,469	5,144	遠野地区	1,777	5,469
	10,649	25,648		1,721	4,989		1,901	5,816
常磐地区	14,130	34,879	小川地区	2,402	6,863	田人地区	617	1,616
	13,269	33,664		2,387	6,825		687	1,817
小名浜地区	32,689	82,949	川前地区	434	1,109			
	28,727	75,571		473	1,231			
勿来地区	19,209	49,397	三和地区	1,062	3,026	計	141,098	347,552
	18,262	48,718		1,091	3,225		127,420	327,890

注：上段は平成28年4月時点、下段は平成25年4月時点

※人口は前回調査時点と各ブロックにおいて大きな変化がないため、実数の増減については考慮しないで分析を行った。

また、調査実施日時時点で原子力災害による避難指示区域に指定されている町村については、居住者を0として取り扱っている。